

講義名	キャリア実践論（3年生のみ）		
科目区分	キャリア		
担当教員	中山 一郎		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 1時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	11049

### 主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。

就活は3年生の後期から準備が始まり、4年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就活対象者は自分の強さや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。

授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

### 到達目標

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己PRの作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めていくことにある。

- ・SPI等の筆記試験対策で得意、不得意な分野を自己評価する。
- ・自分の強さ・弱さの分析から自己PRをまとめる。
- ・業界企業を分析し、自己PRと志望動機につなげていく。
- ・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定する。

### 提出課題

「課題レポート」の提出を求めますが、テーマについては授業のなかで発表します。

### 評価の基準

学生に対する評価

ミニレポート・ミニテスト（75%）  
 SPI小テスト（10%）  
 課題レポート（15%）  
 注）遅刻、私語、居眠り、スマホいじりなどの迷惑行為は減点の対象とします

を総合的に評価します。

### 履修にあたっての注意・助言他

火2の「キャリア実践論」と同じ名称の授業ですが、3年生は月1の授業を履修してください（4年生は火2の授業を履修してください）。

3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、就職希望の学生は必ず受講してください。また、日頃から新聞等で社会全般についての情報に関心を持つように心がけてください。

### 教科書

エピソードの就活～キャリアカウンセラーが 中山一郎	晃洋書房	1,900円(税別) 978-4-7710-
教える7つのステップ～		

### プリント資料及び参考文献

プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介します。

### 授業計画

回数 授業計画

- 1 インタロダクション：就職環境の現状と課題
- 2 働くことの意味
- 3 社会を取り巻く環境
- 4 企業を取り巻く環境
- 5 業界研究と企業研究（1）
- 6 業界研究と企業研究（2）
- 7 筆記試験（1）
- 8 筆記試験（2）
- 9 仕事研究
- 10 エントリーシート（1）
- 11 エントリーシート（2）
- 12 グループディスカッション
- 13 面接
- 14 就職活動の戦略の立て方
- 15 まとめ

### 予習・復習

就職活動をするために、授業内での宿題や課題だけでなく、自己分析、業界地図や就職四季報、企業HP等での企業研究・仕事研究、SPIなどの筆記試験対策 以上 ～ について1日30分は時間をかけて準備すること。具体的な方法は授業内で紹介していく。

### 備考